

社会資本総合整備計画書  
(愛知県・安城市)

令和5年1月

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和04年01月25日

計画の名称	災害に強い安全で安心な生活基盤の確保												
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	安城市												
計画の目標	下水道施設の耐震化を推進することで災害時の機能障害やその影響を最小限にとどめ、さらに、計画的に調査・点検・改築を実施することで、市民への安全・安心な下水道サービスの提供並びに下水道事業の健全な経営を継続する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	434	A	434	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初		R6末
1	安城市下水道総合地震対策計画(緊急目標)のうち、人孔の浮上防止及び耐震補強率を0%(R2当初)から100%(R5末)に引き上げる。 人孔の浮上防止及び耐震補強率 耐震補強済箇所数 ÷ 耐震補強箇所数 × 100	0%	%	100%
2	安城市下水道総合地震対策計画(緊急目標)のうち、汚水管の耐震補強率を0%(R5末)から76.3%(R6末)に引き上げる。 汚水幹線の耐震補強率 耐震補強済延長(m) ÷ 耐震補強延長(m) × 100	0%	%	76%
3	安城市下水道総合地震対策計画(緊急目標)のうち、汚水管の耐震設計率を0%(R3末)から100%(R4末)に引き上げる。 汚水管の耐震設計率 耐震設計済延長(m) ÷ 耐震設計延長(m) × 100	0%	%	100%
4	浄化槽を転用した雨水貯留槽の設置基数を145基(R1末)から、205基(R6末)に引き上げる。 浄化槽転用貯留槽の設置基数	145基	基	205基
5	ストックマネジメント計画に基づく管路調査の進捗率を21.0%(R1末)から、100%(R5末)に引き上げる。 ストックマネジメント計画に基づく管路調査のうち、調査した延長の割合 調査済み延長(km) ÷ 計画調査延長(km) × 100	21%	%	100%
6	ストックマネジメント計画に基づくポンプ更新の進捗率を0%(R1末)から、100%(R3末)に引き上げる。 ストックマネジメント計画に基づくポンプ更新のうち、更新台数の割合 更新台数(台) ÷ 計画更新台数(台) × 100	0%	%	100%

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初		R6末
7	下水道施設の適時適切な維持管理を実施するため、ストックマネジメント計画の見直しを行う。 ストックマネジメント計画（変更）の策定率	0%	%	100%
8	老朽化などにより、対策が必要な下水道施設を計画的に改築するため、ストックマネジメント修繕・改築計画を策定する。 ストックマネジメント修繕・改築計画の策定率	0%	%	100%
9	ストックマネジメント計画に基づき、自動除塵機の更新を行う。 ストックマネジメント計画に基づく更新が必要な自動除塵機のうち、更新済台数の割合 更新台数（台）÷計画更新台数（台）×100	0%	%	100%
10	ストックマネジメント計画に基づき、広美中継ポンプ場の非常用発電機の更新を行う。 ストックマネジメント計画に基づく更新が必要な非常用発電機のうち、更新済台数の割合 更新台数（台）÷計画更新台数（台）×100	0%	%	100%
11	雨水貯留施設の設置基数を533基（R3末）から、584基（R6末）に引き上げる。 雨水貯留施設の設置基数	533基	基	584基

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="radio"/>	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	-----------------------	----------	-----------------------	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	安城市	直接	安城市	管渠(汚水)	改築	下水道施設耐震補強(人孔)	人孔耐震補強 N=3箇所	安城市						90		策定済
	総合地震対策計画																		
	A07-002	下水道	一般	安城市	直接	安城市	管渠(汚水)	改築	下水道施設耐震補強(管渠)	管渠補強 L=253m	安城市						61		策定済
	総合地震対策計画																		
	A07-003	下水道	一般	安城市	直接	安城市	管渠(汚水)	改築	下水道施設耐震補強設計(管渠)	耐震補強設計 L=178m	安城市						14		策定済
	総合地震対策計画																		
A07-004	下水道	一般	安城市	直接	民間	-	-	雨水貯留施設助成	浄化槽転用雨水貯留槽助成	安城市						4		-	
新世代下水道支援事業																			
A07-005	下水道	一般	安城市	直接	安城市	管渠(汚水)	改築	ストックマネジメント	ストックマネジメントに基づく施設調査	安城市						83		策定済	
ストックマネジメント計画																			
A07-006	下水道	一般	安城市	直接	安城市	ポンプ場	改築	ストックマネジメント	ストックマネジメントに基づく広美中継ポンプ場のポンプ更新	安城市						20		策定済	
ストックマネジメント計画																			

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-007	下水道	一般	安城市	直接	安城市	管渠(汚水)	改築	ストックマネジメント	ストックマネジメント計画の見直し	安城市						29		策定済
	ストックマネジメント計画																		
	A07-008	下水道	一般	安城市	直接	安城市	管渠(汚水)	改築	ストックマネジメント	ストックマネジメントに基づく、修繕・改築計画の策定	安城市						22		策定済
	ストックマネジメント計画																		
	A07-009	下水道	一般	安城市	直接	安城市	ポンプ場	改築	ストックマネジメント	ストックマネジメントに基づく、広美中継ポンプ場の自動除塵機更新	安城市						50		策定済
	ストックマネジメント計画																		
	A07-010	下水道	一般	安城市	直接	安城市	ポンプ場	改築	ストックマネジメント	ストックマネジメントに基づく、広美中継ポンプ場の非常用発電機更新	安城市						60		策定済
	ストックマネジメント計画																		
	A07-011	下水道	一般	安城市	直接	民間	-	-	雨水貯留施設助成	新設雨水貯留施設助成	安城市						1		-
	新世代下水道支援事業																		
										小計						434			
										合計						434			

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 災害に強い安全で安心な生活基盤の確保

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画（知多湾等流域別下水道整備総合計画等）と適合している。	○
I. 目標の妥当性 矢作川・境川流域関連安城市公共下水道事業計画と適合している。	○
I. 目標の妥当性 関連する他の事業計画（矢作川・境川流域下水道事業計画等）と適合している。	○
I. 目標の妥当性 各種事業計画（安城市総合地震対策計画等）が策定され適合している。	○
I. 目標の妥当性 各種法令（都市計画法、下水道法等）を遵守している。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題と整備計画の目標の整合が図られている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 長期的収支計画の見通しが健全と判断される。	○
III. 計画の実現可能性 関係機関との協議、住民等の合意形成等を踏まえて事業実施の確実性が高い。	○
III. 計画の実現可能性 その他、事業実施のための環境整備が図られている。	○

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03	R04		
配分額 (a)	14	16	55		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	14	16	55		
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0		
支払済額 (e)	14	16	37		
翌年度繰越額 (f)	0	0	18		
うち未契約繰越額(g)	0	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考図面) 社会資本整備総合交付金

計画の名称	1 災害に強い安全で安心な生活基盤の確保	交付対象	安城市
計画の期間	令和2年度 ~ 令和6年度 (5年間)		

